

むらかみライビジョン



育てよう、人の杜^{もり}

村上には、すべてがある。

食がある。自然がある。歴史と文化がある。その真ん中に、人が集い、混ざり合う駅前を。めざすのは、村上駅前・人の杜（もり）。

人の杜は、人が自然と集まり、誰でも気軽に立ち寄れ、また帰ってきたくなる場所。みんなの「やってみたい」を持ち寄り、形にできるチャレンジの拠点。季節とともに楽しみ方が広がり、世代をこえて人々が交わる、村上らしい中心地。そんな駅前を、みんなで育てていく。

—村上駅周辺まちづくりの合言葉—

育てよう、人の杜（もり）

村上には、すべてがある。
食がある。自然がある。歴史文化がある。
その真ん中に、人が集い、混ざり合う駅前を。
めざすのは、村上駅前・人の杜（もり）。

人の杜は、人が自然と集まり、誰でも気軽に立ち寄れ、また帰ってきたくなる場所。
みんなの「やってみたい」を持ち寄り、形にできるチャレンジの拠点。
季節とともに楽しみ方が広がり、世代をこえて人々が交わる、村上らしい中心地。
そんな駅前を、みんなで育てていく。

一村上駅周辺まちづくりの4つの将来像

食や文化を軸にした「村上らしさを感じる場所」

地域の事業者と連携して村上の「食」や「歴史・文化」の魅力を発信し、「村上らしさ」を体感できる玄関口を創出します。

世代を超えて人々が混ざり合う「にぎわいと安心感」

子どもからお年寄りまで、様々な年代の人々が自然に混ざり合うやわらかな空間にすることで、「にぎわい」と「安心」をもたらします。

目的がなくても立ち寄れる「気軽さと居心地の良さ」

誰もが目的がなくても気軽に立ち寄れる余白を持ち、日常的に人々が交流するような「サードプレイス」として居心地の良い空間を目指します。

市内の各地域をつなぐ「ハブとしての役割」

村上駅前が単なる「場所」ではなく「ハブ」として、各地域や人々の交流をつなぐ中心地の役割を持つことで、市域全体への「にぎわい」と「地域活性化」をもたらします。